

2018 年度（平成 30 年度）10 月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科

（博士前期（碩士）課程）

Graduate School of Human and Socio-Environmental Studies
(Master's Level Section), Kanazawa University

学 生 募 集 要 項

〔台湾協定校特別選抜〕

法学・政治学専攻

金 沢 大 学

2018 年度（平成 30 年度）10 月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科
法学・政治学専攻（博士前期（碩士）課程） 台湾協定校特別選抜 学生募集要項

本学の大学院人間社会環境研究科は、法学・政治学専攻を含む博士前期課程の 5 専攻と博士後期課程の 1 専攻から構成されています。法学・政治学専攻の起源は 1971 年に本学に設置された大学院法学研究科（修士（碩士）課程）です。その後の数度の改組を経て、現在では、博士前期課程の本専攻と、博士後期課程の人間社会環境学専攻法学・政治学コースが、本学大学院における法学・政治学の研究・教育を担っています。

本専攻は以下の 4 つのプログラムを設けています。このプログラムは、博士前期課程修了のために必要な授業科目・単位数を定めるものです。本専攻を志願する者は、志願時にいずれかのプログラムを選択してください。

【プログラムの編成・授与する学位】

プログラム名	授与する学位（修士）
基礎法学プログラム	法 学
公法学・社会法学プログラム	
民事法学プログラム	
政治学プログラム	政治学

1. 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

法学・政治学専攻は、以下の知識・能力・関心を有する方に志願していただくことを希望します。

- 法学・政治学の基本的知識、又はその他の学問分野の基本的知識及び法学・政治学の基本的知識を修得する能力
- 修士論文を作成するために十分な文章読解・作成能力
- 研究を進める上で必要となる外国語（母語以外の言語）能力
- 標準修業年限以内に一定の成果をえられる研究計画を作成する能力
- 研究しようとする分野における現在の研究水準や議論状況についての初歩的知識
- 法学・政治学に関する議論において、他者の意見を正確に理解し、自分の意見を口頭で説得的に説明できる能力
- 自発的に法学・政治学に関する課題を発見する能力及び法学・政治学が対象とする社会全般についての関心

なお、この特別選抜に志願するためには、日本語能力試験 N2 レベル以上の日本語能力を志願時に有していることも必要です（詳しくは「事前審査の申請に必要な提出書類一覧」の 8「語学能力証明書①」の項を参照してください）。

2. 募集人員 若干名

3. 出願資格

次の1,2号のいずれかに該当し、かつ、次の3,4,5号のいずれかに該当する者としてします。

1. 金沢大学と大学間交流協定を結んでいる台湾の大学の学士課程を卒業した者若しくは修士（碩士）課程を修了した者又は2018年9月30日までに卒業若しくは修了見込みの者
2. 金沢大学の部局と部局間交流協定を結んでいる台湾の大学の部局に卒業時に在籍し、かつその大学の学士課程を卒業した者若しくは修士課程を修了した者又は2018年9月30日までに卒業若しくは修了見込みの者
3. 法学若しくは政治学の学位（学士又は修士）を有する者又は2018年9月30日までに得る見込みの者
4. 卒業又は修了に必要な単位数の半分以上を法学又は政治学に関する授業で修得した者
5. 本専攻で指導を希望する教員を出願時に決めており、かつ本専攻での研究のために必要な基礎的知識又は能力に関する授業の単位を修得済みである者

なお、出願時には大学の学士課程を卒業する見込みであったが、2018年9月30日までに卒業しなかった者は、この特別選抜に合格しても本学への入学を認めません。

4. 出願資格事前審査

全ての志願者は、出願資格事前審査を受けなければなりません。なお、事前審査は無料です。

4-1. 出願資格事前審査の申請に必要な書類、提出方法及び期限

志願者は次のページの表にある書類（5,8の推薦書を除く）を全てPDFに変換して、下記の期間に下記アドレスへ送信してください。

5,8の推薦書については、志願者が推薦人に対して、下記の同期間に同アドレスへ送信するよう依頼してください。

●書類提出期間（推薦書を含む）：2017年10月27日（金）～11月9日（木）17時（日本時間）

●書類送付先：n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

4-2. 出願資格事前審査の結果発表

2017年12月13日（水）17時（日本時間）までに、申請者にEメールでお知らせします。

表：事前審査の申請に必要な提出書類一覧

出願書類には、パスポート上の氏名（中文姓名及びアルファベット）を記載してください。

提出書類	摘要
1 事前審査申請書	本研究科所定のファイルに必要事項を日本語で記入してください。 確実に連絡が届く E メール・アドレス及び Skype 名 (Skype Name) の記入も忘れないようにしてください。
2 卒業（見込み）証明書	本専攻への出願資格を満たす大学又は大学院の卒業（見込み）又は修了（見込み）証明書を提出してください。
3 成績証明書	・学士課程を卒業又は卒業見込みの者：学士課程の成績証明書 ・修士（碩士）課程を修了又は修了見込みの者：学士課程及び修士課程の成績証明書 ※台湾以外の大学の書類を提出する場合は、その大学が発行する英語の成績証明書を提出してください。
4 研究計画書	本研究科所定のファイルに、入学後の研究計画を日本語で具体的に作成してください。なお、枚数は A4 で 2 枚以内とします（図表などを含む）。
5 推薦書	協定校・協定部局に属する教員の推薦状一通。弁護士の方は所属事務所又は所属弁護士会の長の推薦状でも可。署名をした推薦書をスキャン（scan）し、PDF に変換してください。
6 パスポート（及び日本在留者は在留カード）の写しを提出	日本に在留している方は在留カードの写しも提出してください。 パスポートは国籍、姓名、性別、生年月日が記載されたページを、在留カードは表・裏を、提出してください。
7 修業年限中の学費等の支払いを保証する証明書	本人名義の預金残高証明書、又は奨学金支給証明書（日本台湾交流協会等の財団、政府、民間企業等）等を提出してください。 本人以外が学費を支払う場合は、学費支払者による自筆の学費支払証明書及び預金残高証明書を提出してください。 上記の証明書が日本語・英語・中国語以外の言語で作成されている場合は、日本語又は英語の訳文を添えてください。
8 語学能力証明書①	日本語能力検定試験（JLPT）の N2 レベル以上の成績証明書、又は志願者が N2 レベル以上の日本語能力を有することを確認できる大学専任教員による推薦書（署名をした推薦書をスキャンし、PDF に変換してください） ※日本語能力検定試験については http://www.jlpt.jp/tw/index.html を参照してください。
9 語学能力証明書②（提出は任意）	日本語・中国語以外の言語（英語等）の能力に関する証明書

【注】1：台湾以外の大学又は機関の証明書等には、その大学・機関が発行する英文証明書を添付してください。

【注】2：本選抜の合格者には 2, 3, 7, 8（日本語能力に関する推薦書を除く）、9 の原本を提出していただきますので、それらの書類を保管しておいてください。提出期限等の詳細については、合格発表時にお知らせします。

【注】3：事前審査申請書及び研究計画書の作成に関する注意

- (1) 本専攻のウェブサイト（<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/law-graduate>）に掲載しているファイルを利用してください。
- (2) 研究計画書は、A4サイズ・2ページ以内（図表を含む）で作成してください。
- (3) 申請時に指導を希望する教員をすでに決めている者は、「14. プログラム名、専門分野及び担当教員名」を参照の上、当該教員名とプログラム名を記入してください。
- (4) 申請時に指導を希望する教員を決めていない者は、選択を希望するプログラム名のみ記入してください。この場合、遅くとも入学後半年以内に、指導教員を決めていただくことになります。

5. 出願手続

5-1. 出願期間

出願資格事前審査の結果発表後，2017年12月18日（月）17時（日本時間）まで。

5-2. 出願方法

本学出願用ウェブサイト（URLは個別にお知らせします。）より出願してください。

5-3. 検定料の支払いについて

入学検定料30,000円を上記出願期間に，上記出願用ウェブサイトよりクレジットカードで支払ってください。

6. 選抜試験

出願資格を認められ，検定料の支払いを確認できた者に対して，Eメールにより受験番号をお知らせし，Skypeによる口述試験を行います。この試験では，研究計画書をふまえて，本専攻での学習・研究のために必要な専門的知識や日本語能力を有しているかを確認します。

【注】1：試験の実施日時に関する連絡はEメールで行います。

【注】2：試験実施までに，Skypeを安定して利用できる通信環境を確保してください。

7. 合格発表

2018年1月23日（火）13時（日本時間）に，本専攻ウェブサイトで行う予定です（<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/law-graduate>）。電話やEメール等による合否の問い合わせには応じられません。

8. 入学時に必要な経費

(1) 入学料 282,000円

【注】1：上記の納付金額は予定額であり，入学時に入学料が改定された場合には，改定時から新入学料が適用されます。

【注】2：入学料については，徴収猶予又は免除の制度があります。

(2) その他の経費

本学では学生生活における事故等に備え，必要な保険への加入を強く推奨しております。

学生教育研究災害傷害保険料（2年分） 1,750円

9. 授業料の納入

授業料の納入方法は，本学指定の銀行が，学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替」となっています。手続きについては，2018年8月下旬までに大学院入学・進学手続要項とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を参照してください。

授業料（前期分） 267,900円 （授業料年額 535,800円）

【注】1：上記の金額は予定額であり，入学時又は在学中に授業料が改定された場合には，改定時から新授業料が適用されます。

【注】2：授業料については，減免の制度があります。

10. 標準修業年限

人間社会環境研究科（博士前期課程）の標準修業年限は2年です。ただし，優れた研究業績を上げた者については，1年で修了することが認められる場合があります。

11. 奨学金について（外国人留学生対象）

金沢大学は外国人留学生を対象とする奨学金制度を設けています。詳しい内容は，以下のウェブサイトをご覧ください。<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>

12. 注意事項

- (1) 申請書類受理後の記載事項の変更には応じられません。
- (2) 検定料の払い戻しには応じられません。
- (3) 提出した書類に虚偽の記載をした者，不正申告をした者及び選抜試験において不正な行為を行った事実が判明した者については，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。その場合，振り込まれた入学料は返納しません。

13. 個人情報の保護

金沢大学では，「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく全ての書類に記載されている個人情報は，次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学料免除，授業料免除，奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (4) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (5) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (6) 卒業（修了）生に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント），同窓会活動への支援等に関する業務
- (7) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

14. プログラム名, 専門分野及び担当教員名

プログラム名	専門分野	担当教員
基礎法学プログラム	法理学	足立 英彦
	日本法制史	丸本 由美子
	西洋法制史	
	東洋法制史	中村 正人
	外国法 (英米法)	東川 浩二
公法学・社会法学プログラム	憲法	山崎 友也
	行政法	長内 祐樹
	税財政法	平川 英子
	国際法	稲角 光恵
	刑法	永井 善之
	刑事訴訟法	大貝 葵
	労働法	
	社会保障法	石田 道彦
民事法学プログラム	民法	高 秀成
	民法	合田 篤子
	民事訴訟法	福本 知行
	商法	村上 裕
	商法	永江 亘
	経済法	洪 淳康
	国際私法	羽賀 由利子
	知的財産法	大友 信秀
政治学プログラム	公共政策論	木村 高宏
	政治社会学	
	政策過程論	河合 晃一
	計量政治学	岡田 浩
	政治思想史	仲正 昌樹
	政治コミュニケーション論	山本 竜大

金沢大学大学院人間社会環境研究科

[問い合わせ先]

〒920-1192 金沢市角間町^{かくまち}
 金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

電話: (+81) (0)76-264-5600~5602

E-mail: n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学 URL <http://www.kanazawa-u.ac.jp>